

施策番号	0703		
施策名	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり（「支えるスポーツ」）		
概要	多様化する要望にこたえて、スポーツ施設の柔軟な運営と良質なサービスの提供を行うほか、スポーツを支えるしくみづくりや、スポーツを支える組織の人材確保・育成を進める。		
担当局・部室	文化市民局・市民スポーツ振興室	共管局・部室	
上位政策	7 スポーツ		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市市民スポーツ振興計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		26年度	27年度	28年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数 (人)	a	b	9, 118	9, 837	9, 514	103. 4%	a	1. 00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	b	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度	27年度	28年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	スポーツイベントや運動会、レクリエーションなどの活動を、スタッフやボランティアとして支えるひとが増えている。	c	c	34 6. 9%	160 32. 5%	204 41. 4%	69 14. 0%	26 5. 3%	493
2	-	-	-						-
3	-	-	-						-
4	-	-	-						-
5	-	-	-						-
		c	c	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) スポーツ活動の支え合いが身近に感じられることが重要であるため、市民の実感を重視する。						27 年度	C
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・市民のボランティア参加に関する機会についての認識が十分とは言えないため、前年度に引き続きc評価になったと考えられる。						26 年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	スポーツ推進委員	24,573	27,572	良い	文化市民局
2	全京都大学野球トーナメント大会	3,267	3,579	良い	文化市民局
3	体育振興会事業助成	19,721	19,778	良い	文化市民局
4	国体派遣補助	1,334	1,334	普通	文化市民局
5	競技スポーツ強化振興事業	6,116	6,166	良い	文化市民局
6	京都マラソン	501,387	507,781	普通	文化市民局
7	スポーツウェブ京都の整備	0	2,484	—	文化市民局
8	京都市市民スポーツ振興計画の中間見直し	4,169	0	—	文化市民局
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・市民スポーツフェスティバル、京都マラソン2017等を通じて、大会を支えていただくボランティアの増加を図るとともに、大会をきっかけとしたスポーツの魅力を発信するなど、スポーツボランティアの意義を伝え、「支えるスポーツ」の更なる振興を目指す。

施策名	0703	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり（「支えるスポーツ」）				
指標名	市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数(人)					
担当課	市民スポーツ振興室		連絡先	3 6 6 - 0 1 6 9		
1 指標の説明						
市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数						
2 指標の意味						
市主催のスポーツ事業において市民の間でスポーツ活動を支え合う動きが活発化する状況を示す指標(支えるスポーツ)						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	9,118	9,837	719人増加	9,514	23年度現況値（9,126人）と32年度目標値（10,000人以上）から各年度の目標を等差的（97人増/年）に算出	103.4%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		10,000人以上	32年度	98.4%	多くの市民ボランティアが参加する京都マラソンを開始した平成23年度の現況値9,126人から約10%増の10,000人以上の参加を目標とする。	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a:100.0%以上 b:90%以上～100%未満 c:80%以上～90%未満 d:70%以上～80%未満 e:70%未満						
6 基準説明						
当該指標については、目標値以上を達成したときをaとし、以下10%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
26		27		28		
a		b		a		